

会社概要



株式会社 柴田製作所
代表取締役社長
柴田 雄司

～創業4代目、受け継がれる技術～

-沿革-

柴田製作所は1946年に1代目社長柴田太平が創業。(株)昭和飛行機工業、(株)日本コンラックス、(株)日野自動車との取引を行うために昭島に立地。「中神工業団地」の発祥とも言われる。1993年に都内唯一の500tプレスを導入。2008年に4代目社長に就任する。

-工場内マップ-



会社を訪問して・・・

会社を訪問する前は小さな会社で何をつくっているかイメージがわきませんでした。でも、柴田社長や社員の方々にお話を伺い、「ものづくり」という技術で魅せる仕事に皆様が誇りをもって働いていることがわかりました。柴田製作所は、高齢化社会が進む日本の中で、何歳になっても活躍できる「ものづくりの“プロフェッショナル”」が大勢集う場所でした。

多摩大学 松本ゼミ～昭島プロジェクト～ 参加学生



access-アクセス-



JR青梅線「中神駅」より徒歩22分

西武拝島線「西武立川駅」より徒歩15分

〒196-0021 東京都昭島市武蔵野3丁目-9-24

TEL : 042-543-3630(代表)

FAX : 042-543-5401

代表取締役：柴田 雄司

昭和21年創業の確かな技術

株式会社 柴田製作所
~Shibata Factory~



「誠実・技術・努力」

人に対して誠実であり続けます。

技術を大切にし、向上し続けます。

努力を忘れず、自らを磨き続けます。

・ 都内最大級の「プレス機」と ~Technology~ 「レーザー加工」

柴田製作所は東京都昭島市内で自社だけ唯一500tプレス機を2台、小型プレス機を6台保有しており、平面で切り抜くのであれば、どのような形にも変形が可能であり、厚さ6mmまで切断できるプレス機が自慢の会社です。

また「3次元レーザー加工」を導入しており、その技術を生かし、別の製品にすることも可能であります。

レーザー加工では時間がかかる製品でも、自社のプレス加工であれば、最短の時間で製品が完成いたします。

主にトラックに使われる燃料タンク、オイルカバーを制作しており、「ヒノノニトン」で有名な日野自動車のトラックの部品は、半数以上柴田製作所の製品を使用しております。

・ 工場内で使用されている機械 ~Machine~



「大型プレスライン」
(200t~500t)
※計4台



「小型プレスライン」
(30t~150t)
※計6台



「バンダープレス機」
(25t~150t、ボール型、
ボステッチ)
※計5台



「レーザー加工機」
(2次元ダレパン複合、3次元)
※計2台

・ 社員の「声」 ~Voice~



小型プレス班 班長

自社の強みは「どんな製品でもプレスできる力がある」ことです。近隣に住む人々に、自社の特徴を認識してもらうことが目標です。仕事熱心な社員が多く、現場では緊張感を持ちながら仕事をしているため、技術を磨きたい人は是非我が社へお越しください！



溶接 担当

自社の強みは「機械そのもの」と「経験豊富な社員がいる」ことです。私は30年近く製造業に携わってきたため、人一倍この仕事に対するの熱はあります。長年製造業に勤めている社員が多いため、機械技術は私たちにおまかせください！



大型プレス担当

自社の強みは「作るスピードの速さ」「品質の高さ」です。この会社は社長との距離感が近く、他の大企業には無いような働きやすさがあります。仕事の減少はあまり感じない為、ものづくりが好きな人は是非柴田製作所へお越しください！

